

特別寄稿

男女共同参画講演会では誠にありがとうございました。たくさん質問していただき、直接交流できましたことを深く感謝申し上げます。

私は第61次南極地域観測隊の同行者として約4ヶ月間、南極で活動してきました。「教員南極派遣プログラム」に応募し、教師として茨城県から初めて選ばれました。「南極は、科学も育てるが、人間も育てる」という国立極地研究所の先生の言葉に心が強く動かされ、3度目の挑戦で南極行きが実現できました。

私の最大のミッションは「南極授業」。昭和基地から約1万4千km離れた茨城県と衛星回線で結んでLIVE中継し、授業を2回行いました。真の挑戦は採取した魚を授業当日まで生きたまま飼育することでした。実は、いままで飼育に挑戦した先生は誰一人もなく、私が初めてでした。隊の皆さんが理解してくれ、協力してくれて20日間以上の飼育に成功できました。観測隊に同行して最も心に残っていることは、海上自衛隊や観測隊の皆さんとの共同・協働生活です。その中で、何事も他人事にせず、他者の幸せを願い、共有していこうとする「ともに生きる心」を実感しました。私はその心を『南極魂』と名付けました。

最後に、私は新たな夢を描いています。それは、高校生を南極に連れていくこと。南極の魅力を、『南極魂』を子どもたちにも直接学んでほしいと思っており、そのために私自身、冬の南極の姿も肌で学ばなければと考えています。またお会いできることを楽しみにしております。



ミュージアムパーク
茨城県自然博物館
北澤 佑子

総会 5月24日(水)
坂東市役所1階 多目的ホール

新型コロナウイルス感染症の減少により、多くの参加をいただき、市長、市議会議員、県会議員のご臨席のもと、総会を開催し、議事はすべて承認されました。今年のアトラクションは、女性団体の活動発表で、こども劇場から「劇場ってなあに!」、更生保護女性会は「たばこの害について」の作成DVDの映写がありました。

各団体のPRで、会員募集の機会に繋がっていきたく思います。



エール
応援市 10月1日(日)
ホテルグリーンコア坂東



ばんどう応援市にてバザーを出店して女性団体の活動PRを行いました。

編集後記

お陰様で18号も無事に発行された事をまずは感謝致します。これも、事務局及び関係団体の皆様のご協力のお陰です。この場をお借りして、感謝申し上げます。今回は、私たちの活動を少しでも多くの皆様に伝えたくて、文字も大きく、写真・イラストも多くしました。いかがでしょうか？

会員募集中!

各団体の問合せ等詳しくは、坂東市役所市民協働課 (Tel.0297-21-2183)へ。個人でも入会可。

ぽーとなー

ばんどう市女性団体協議会 会報

Vol.18

《目的》 私たちは、市内の女性団体が相互に連携・協力することにより、構成団体の一層の活動強化並びに男女共同参画を推進することを目的とする。 ~規約第2条より~

坂東市男女共同参画講演会 11月5日(日) 総合文化ホール
「南極せんせいのメッセージ」 ベルフォーレ2階 視聴覚室



ミュージアムパーク
茨城県自然博物館
北澤 佑子 氏



Profile

筑西市(旧関城町)出身。茨城県立古河第三高等学校の理科(生物)教諭科学部顧問として茨城県ASSISTプロジェクトに参画し、第6回茨城県高校生科学研究発表会審査員奨励賞に導く。茨城県立守谷高等学校にて、茨城県の教師で初めて、教員南極派遣プログラムで選出され、第61次南極地域観測隊同行者として活動し、「南極授業」を実施。今年度4月からミュージアムパーク茨城県自然博物館にて勤務。

南極へ行くと言う夢を実現し、南極地域観測隊同行者として任務を遂行する中、教育者としても子どもたちへ南極の魅力を伝え、先生の情熱と使命感を感じました。

先生の「仲間と共同と協働しながら生きていく」という言葉に、人と人が繋がる事の大切さを考える良い機会となりました。そして、先生の講話は、女性としても何か背中を押してくれるような力もあり、大変魅力ある講演でした。是非多くの方に、先生の講話を聴いていただきたいと思いました。



令和5年度「ばんどう市女性団体協議会」主な事業

- 5月 総会
- 7月 視察研修
- 9月 HUGゲームで学ぶ避難所運営!開催
- 10月 ばんどう応援市(バザー出店)
- 11月 男女共同参画講演会 開催
- 3月 会報第18号発行

構成団体(連絡先)

- 坂東市女性フォーラム Tel. 0297-35-0912
- 坂東市更生保護女性会 Tel. 0297-44-0808
- 坂東こども劇場 Tel. 0297-36-3504
- ばんどう舞祭倶楽部 Tel. 080-6893-1207
- ガールスカウト茨城県第8団 Tel. 0297-30-5171
- 坂東市交通安全母の会 Tel. 0297-21-2180
- 坂東市地域女性団体連絡会 Tel. 0297-21-2204

会長あいさつ 「あらゆる分野の男女共同参画実現」

令和6年元旦に能登半島地震が発生し、被災した方々にお見舞い申し上げます。

地震大国日本は何処何時・大地震が起きても不思議でないと言われていますが、年明け早々大変な災害になり改めて自分の周りの災害に対する準備の脆弱さを再認識させられます。皆様はどうでしょうか？

当会では、昨年秋に『多様な視点で防災を考える避難所運営ゲーム(通称:HUGハグ)』を市民の皆様と体験学習しました。能登半島地震では、避難所での問題が続出しました。水・トイレ等々の多くの問題が浮かび上がり、特に避難生活を送る高齢者、女性、妊産婦、乳幼児向けの備蓄が足りない。防災部に女性の視点にたった防災体制を坂東市も早急に取り組み、いざと言う時に備えておく事が大切です。当団体も更に協力して参ります。

多様な視点で、一人ひとりが尊重され誰もが個々の能力を発揮できる【ダイバーシティ社会】の実現や【女性の貧困・DV(ドメスティックバイオレンス)の解決、女性の自立支援強化】を、坂東市男女共同参画計画すまいるプランの目標である、「すべての市民がお互いを認め合い性別に関わり無く、いつも笑顔になれるまち」を市民各自が実現するよう当団体も手を取り合って努力致して参ります。



会長
服部 恵子

男女共同参画講演会でのアンケート

感想・意見

30代(女性)

非日常的な世界を身近な感性でお話しいただき、自分も色々なことにチャレンジしたい!と思いました。

70代(女性)

ありがとうございました。あと何年生きられるかわからないけどいい話が聞けて泣きました。

10代(男性)

南極での写真があり、とても楽しかったし、とても多くの事を学べたので、また参加してみたいと思った。

30代(女性)

1年生と4歳の息子もよく聞いていました。大変貴重なお話が聞けて感謝しています。ありがとうございました。

50代(男性)

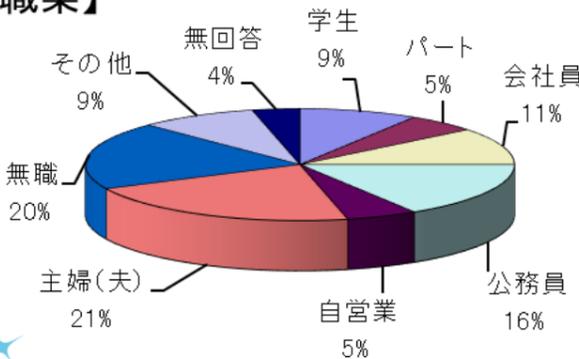
とても分かりやすい講演でした。内容もとても魅力的です。もっと多くの方に聞いてほしい講演でした。

【参加者数】

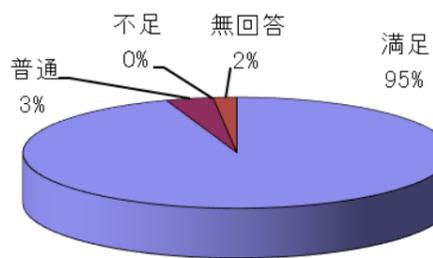
男性	39人
女性	53人



【職業】



【満足度】



HUGゲームで学ぶ避難所運営! 9月30日(土) -多様な視点で防災を考える- 坂東市役所1階多目的ホール



茨城県ダイバーシティ推進センターぼらりす職員の方の指導を得て、小学生を含む32名が参加しました。5つのグループに分かれてゲーム形式で実際の災害避難所対応について学びました。多様な視点で防災を考え皆で助け合う事の重要性を改めて認識することができました。

HUG(ハグ)とは...

Hinanzyo(避難所)
Unei(運営)
Game(ゲーム)
の略です。

アンケート(感想)

60代(女性)

大変でしたが、感じた事も多く、避難訓練の必要性を強く思いました。

10代(女性)

配置や場所を覚えたりすることが大変だったけど、面白かった。

60代(男性)

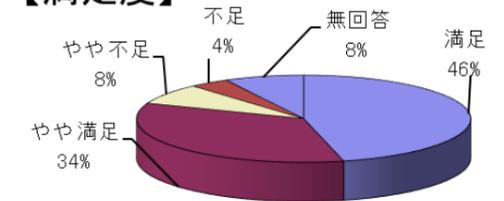
おもしろい。



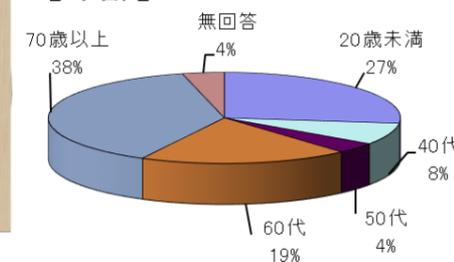
【参加者数】

男性	5人
女性	27人

【満足度】



【年齢】



国会視察研修 7月7日(金)

《参加者の声》

文部科学大臣を任期全うされた永岡桂子衆議院議員の在任中の研修となりました。木村市長に見送られ、国会議事堂へ出発。

まず、文部科学大臣室へ表敬訪問。忙しい公務中の合間に20分程度いただき、貴重なお話しを聞くことができました。

その後、議事堂、議員会館を見学し、女性議員の必要性を更に感じました。坂東市からも、ぜひ、増えてほしいと思いました。

木村 道子

